

今後の取組み

データ収集体制の確立

本計画書における県道（主要な横浜市道及び川崎市道）以上の道路に関するデータは、概ね5年毎に実施する「道路交通センサス」により取得されており、毎年度取得する体制となっていません。また、国と県・市の管理延長と管理体制が大きく異なることから、全ての道路について同じ品質のデータを収集することは、データの収集にかかる費用の面から考えても、現実的ではありません。

したがって、次年度以降に実施する、成果目標に対する達成度を評価する「達成度報告書」の策定にあたっては、効率的なデータ収集体制を確立し、体系的なデータ整備を目指していきます。

継続的改善

「神奈川のみちづくり業績計画書」は、初年度ということもあり、成果指標として7指標を整理していますが、今後、より効率的にデータの収集を行うとともに、県民の皆様からのご意見をいただくなどにより、様々な観点からの指標の提示を行い、充実化を図ります。

また、設定したマネジメントサイクルに従って、継続的に成果指標の設定、見直しを行います。この際、指標の現況値及び目標値については、データ更新や分析手法の向上などにより、修正することがあります。